

協 造 日 報

www.jalc.or.jp
第 432 号

2010 年 3 月 10 日

発行／社団法人日本造園建設業協会（Japan Landscape Contractors Association） 創刊／昭和 49 年 6 月 1 日 〒 113-0033 東京都文京区本郷 2-17-17 井門本郷ビル 2 階 TEL03 (5684) 0011 FAX03 (5684) 0012

本号の主な内容

- 2面【特集】第36回 全国造園デザインコンクール
3面 入選 18 作品・審査講評紹介
都市生活を豊かにする公園デザインの提案に期待
4面【学会の目・眼・芽】第10回 荻茂寿太郎氏
「街路樹剪定士指導員研修会」開催
【緑滴】人にやさしい秋田の街づくり 加藤薫氏



第36回全国造園デザインコンクール表彰式では、文部科学省・添野龍雄教科調査官から5年連続となった長野県須坂園芸高等学校・西澤和平校長に文部科学大臣賞が授与された

応募370作品、長野県須坂園芸高等学校 5年連続 文部科学大臣賞 受賞

第36回 全国造園デザインコンクール表彰式を開催

平成21年度第36回全国造園デザインコンクール表彰式は2月6日、東京都千代田区麹町の弘済会館で行われた。当日は、入選から特に優れた作品が選ばれた特別賞の受賞者や審査委員の先生方をはじめ、学校関係者、応募者などが参加した。

コンクールは、(社)日本造園建設業協会主催、(社)ランドスケープコンサルタンツ協会、全国高等学校造園教育研究協議会の共催、文部科学省、国土交通省、全国農業高等学校長協会、(社)日本造園学会、NHKの後援で実施しているもの。

表彰においては今回、優れた教育指導として、高等学校を対象に行う文部科学大臣賞を長野県須坂園芸高等学校が受賞し、実に5年連続の快挙となった。

表彰式は冒頭、佐藤四郎日造協会長が「全国造園デザインコンクールは、当協会にとつて事業の柱であり、370点もの作品が寄せられ、感謝している。そして、今回受賞された方々は、こうした作品の中から特に選ばれたものであり、心からお祝いを申し上げたい」とあいさつ。

次いで、添野龍雄文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官が、「文部科学省で言う造園は、農業と工業にならぬ限り、その領域は幅広い」と述べた。

い。高校生の部において応募数が減っているが、全国の関係学科も69から66となり、生徒も減少している。これは、高校生全体が減少する中でのことといえる。しかし、応募校は33校であり、周知徹底を図り、実習についてはすべての学校から応募があるよう努力したい。造園教育は、人材の育成であり、素晴らしい人材が活躍することで造園の発展につながり、豊かな環境の創造という人々の希求に応えるものとなる。コンクールのさらなる活性化に期待したい」と述べた。



受賞作品の説明を行う森山大輝さん

樹林

本校の生徒の印象は純朴そのものである。1年次に一括募集し、2年次に4学科の中から選択し、自ら造園科を希望してくる。生徒の顔は一樣に生き生きと輝いている。「よし、ついでに」「この目の輝きを失うな」と教員の側も決意を新たにしている。1年のスタートが毎年春に繰り返されている。そして多くの生徒は1年の終わりにその輝きを失うことがなかった。現在、生徒の進路は毎年のように国立大学の進学から地元造園会社への就職まで幅広く、その希望が実現できるようになっている。この結果には、「全国造園デザインコンクール」という学習の機会が果たしてきた役割はとて大いと感じている。

全国造園デザインコンクール作品製作

水を得た魚「全国造園デザインコンクール」生徒の活躍に寄せて

長野県須坂園芸高等学校 教諭

西澤 国之



は、毎年12月初めから開始し、生徒は土日、冬休みも学校へ出てきて朝から晩まで集中的に取り組んできた。この時期は、2年生でも春からの実習が一段落し、造園材料も少し知り、自信を持って図面が描ける時である。約60種類ほどの樹木の特性、うろ（空洞部）の原因、剪定後の

は、毎年12月初めから開始し、生徒は土ンターシップ、社会人講師授業、国営公園等の見学を実施し、視野を広げる機会を設けてきた。同コンクールには、毎年専門コースの授業を受けていない1年生も数名志願してくる。そのため、校内に作られた見本庭園である築山枯山水庭園、築山山水庭園、沈床庭園、雑木の庭

を日本学校農業クラブ連盟北信越大会、全国大会プロジェクト発表会で発表し、生徒の活躍の場が広がっている。クラブ活動の中心となり活躍した生徒たちは全員、自然からの学びを生かして全国造園デザインコンクールに入選し、多くの生徒が特別賞をいただいている。

私は、現任校に勤務して7年になる。それ以前は、長野県内の農業高等学校で林業、農業を中心に教壇に立ちながら、造園教科に興味を持ち、様々な造園研修を行ってきた。それは、造園史を学ぶため千葉大学園芸学部への内地留学、長期休業などを利用した京都、大阪の造園会社、県内竹材店などの研修である。教員となり18年目に長野県で唯一の造園科を有する現任校へ着任し初めて、それまでの体験を生徒へ伝えることができる機会に恵まれた。樹木医資格も同資格を持ち造園業をしている須坂園芸高等学校卒業生や生徒の姿

新芽の状態などの観察、年間のライフサイクルに合わせたマツやシバの手入れ、除草作業などを行っている。製図については、1・2消点透視図、アイソメなどの無消点透視図の描き練習を済ませて、各自で透視図法の選択が出来るようにしてきた。3年生は造園会社へ1週間のイ

茶庭、平庭、ガーデンテラス、壁泉などの学校庭園と一緒に歩いて解説し、生徒の好みをつかむようにしている。現任校へ着任した7年前、担当する造園科緑地計画コースの生徒を中心に造園クラブを結成し、休日・放課後、長期休業を利用して活動してきた。季節ご

の植生調査を行い、大正15年に本多静六博士が設計した臥竜公園設計図を参考に、キツキツ類の巣箱設置、市民との協働作業による下草植栽などを行い、環境に配慮したランドスケープの提案を行ってきた。他にも造園材料である「竹の構造材としての研究」を行い、研究成果

特に地球温暖化やヒートアイランド対策、今年は生物多様性の国際会議も予定され、緑が果たす役割に期待が寄せられている。しかし、実際に緑をつくるのは設計・施工者の皆様であり、今後、応募された方々の力が緑に関する施策の実現につながり、より素晴らしい緑の空間が創造されるものと思

う」と述べた。その後、特別賞の授与と、昨年初実施の作品発表を今年も開催。森山さん、池山さん、飯野さんがそれぞれ登壇し、自らの作品のポイントなどを説明。会場から、テーマ設定の背景や苦労した点、取り組み始めた時期などについての質問が寄せられ、最後に、審査委員長の藤井英二郎千葉大学園芸学部教授が、まとめとして講評を述べた。

(2・3面に審査講評)



講評を述べる藤井英二郎審査委員長

■藤井英二郎委員長（千葉大学園芸学部教授）

第36回全国造園デザインコンクール（以下「コンクール」）の応募数は370点で、前回に比べて21点増えました。高校生の応募数は前回より僅かに減り、大学生が大幅に増えました。

ここ数年着実に増えてきていた一般からの応募が減ったのが残念ですが、このコンクールが新たなス



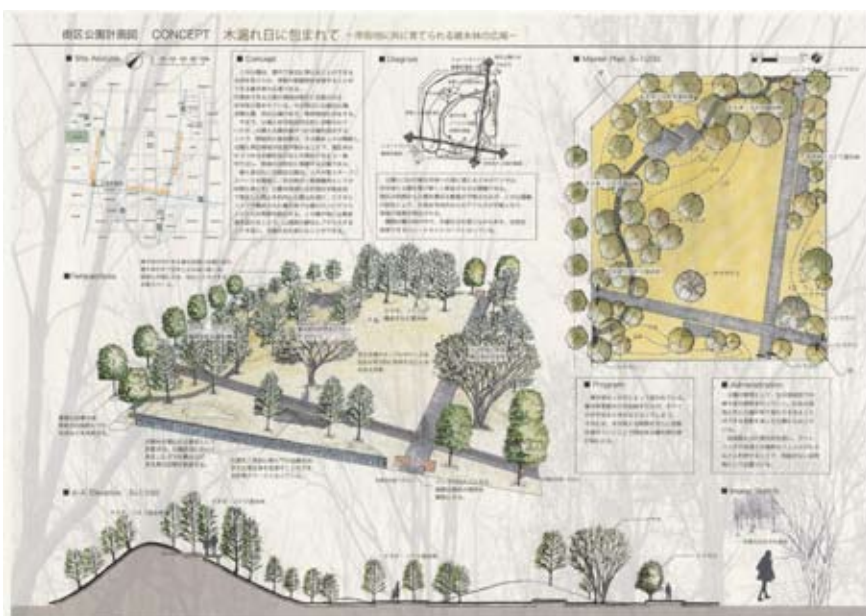
国土交通大臣賞 森山大輝 長野県須坂園芸高等学校（高校生の部・街区公園部門）



(社)日本造園学会賞 森田志織 E & Gアカデミー東京校（大学生の部・住宅庭園部門）



(社)日本造園建設業協会賞 池山幸大 京都造形芸術大学（大学生の部・実習作品部門）



(社)ランドスケープコンサルタンツ協会賞 飯野英美里 東京農業大学短期大学部（大学生の部・街区公園部門）

豊かな公園無くして都市の成熟はあり得ない 都市生活を豊かにする公園デザインへの提案に期待

テップに展開しつつあるように思います。

主催者の(社)日本造園建設業協会と全国高等学校造園教育研究協議会の永年に亘るご努力の賜と深く敬意を表します。

大学生の応募が増えたこともあって住宅庭園のデザインに優れたものが多くありました。また、実習作品にはみんなで力を合わせて取り組んだ結果がよく表れ高い教育効果があったものと思います。

これらに対して街区公園は大学生からの応募が増え、たにも拘わらず十分なものも多く見られました。こ

この傾向は今回に限らないことですので、大学生ですら街区公園に豊かなイメージがあるのかと思います。

豊かな公園無くして都市の成熟はあり得ませんので、都市生活を豊かにする公園デザインの提案を強く期待します。

■添野龍雄委員（文部科学省初等中等教育局児童生徒課産業教育振興室教科調査官）

今年も全国から寄せられた皆さんのすばらしい作品をたくさん拝見することができ感謝しております。

文部科学大臣賞は今年度も入賞数が群を抜いていた長野県須坂園芸高等学校とさせていただきます。須

の御努力と指導された方々の情熱には頭の下がる思いです。

図面通りの庭や公園、公共空間が完成した状況を想像して、住んだらどんな感じが、どんなことをして遊べるかな、行ったら楽しいかなという気持ちになりました。

本年度は応募要領を熟読されたせいか、例年に比べ、応募要領に沿わない作品が少なく、審査していてもうれしかったです。

文部科学大臣賞は今年度も入賞数が群を抜いていた長野県須坂園芸高等学校とさせていただきます。須

の御努力と指導された方々の情熱には頭の下がる思いです。

図面通りの庭や公園、公共空間が完成した状況を想像して、住んだらどんな感じが、どんなことをして遊べるかな、行ったら楽しいかなという気持ちになりました。

本年度は応募要領を熟読されたせいか、例年に比べ、応募要領に沿わない作品が少なく、審査していてもうれしかったです。

審査の中でやや気になった点は、住宅庭園部門においては、居室からの見え方など居住者の視点、街区公園部門においては、周辺の施設立地を踏まえた利用者の視点、公共的空間部門においては、特殊空間であることへの配慮等が十分ではない作品が見受けられたことです。今後、作品の計画や表現において工夫の余地があると思います。

そのような中で国土交通

大臣賞を受賞した長野県須坂園芸高等学校の森山大輝さんの作品は、立地特性や利用者の視点に配慮し、楽しそうな公園の雰囲気が出た。今後の活躍を期待します。

空間をデザインすることは、創造そのものであり、人々に夢を与える作業です。来年も多くの方が本コンクールにご応募されることをお祈りいたします。

■鈴木誠委員（(社)日本造園学会理事）

森田志織さんの住宅庭園デザインは、「食への不安」

この観点から、森田さんの作品は木柵の雨水タンク、コンポストボックス、インゲンのオベリスクや果樹のエスバリエなど、個別のデザイン工夫を繊細な感性感じ確かなパッチワークで総合しており、楽しく

全国造園デザインコンクール 入選18作品・審査講評紹介

美しいエコライフ空間を創出している点が高く評価された。

継続していただきたいと思えます。

作品の傾向については、

■土金徳治委員(全国高等学校造園教育研究協議会理事長)

今回も多数のご応募をいただき、ありがとうございます。

時代背景をコンセプトに上手に取り組んだものが多く見られました。部門ごとでは、大学生作品は着想が豊か

で仕上がり綺麗なものも多く、高校生作品については、製図や計画・設計の

基本に沿った作品が多く、先生方の熱心な指導の賜物と感じています。

また、公共空間部門全体については、特殊空間の緑化特性を配慮した作品が少

ない、とても残念でした。今後に期待したいと思

います。

■鈴木一志委員(全国高等学校造園教育研究協議会副理事長)

全国的造園教育に携わる先生方の熱心な指導に御礼を申し上げます。

さて、高校生の部では図面の仕上がりこだわった作品が多く感じました。

しかし、一方で製図の基礎的な内容に不備のある図面も見つけられました。また、CADの導入によって透視図などの表現方法が一

化されているように感じました。同じような表現

の図面が同じ学校から提出されることは致し方ないことだとは思いますが、それぞれのデザインやアイデアを大切にしながら、基礎基

本を徹底していただきたいと思っています。

■前澤洋一委員(社)ランドスケープコンサルタンツ協会技術委員会副委員長

全国各地から知恵と汗の結晶である370点もの作品を一同に見ていただける機会を得て、改めて関係皆様の

熱意と努力に深く感動しました。高校生の活躍は例年通りですが、今年は特に大

学生の応募が大幅に増加し、レベルも高いものが多

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。

く、参加者層の広がりや全体のレベルアップに大きく貢献したと思います。



受賞者と関係者らで記念撮影



入選 樋口翔子 長野県須坂園芸高等学校 (高校生の部・住宅庭園部門)



入選 鈴木 幸 長野県須坂園芸高等学校 (高校生の部・住宅庭園部門)



入選 小林彩実 長野県須坂園芸高等学校 (高校生の部・街区公園部門)



入選 宮林那未子 長野県須坂園芸高等学校 (高校生の部・公共的空間部門)



入選 浅沼引孝 岩手県立花巻農業高等学校 (実習作品部門)



入選 小林あて 長野県須坂園芸高等学校 (実習作品部門)



入選 平山夕美子 E&Gアカデミー東京校 (大学生の部・住宅庭園部門)



入選 松野和哉 E&Gアカデミー東京校 (大学生の部・住宅庭園部門)



入選 伊佐真津美 明治大学 (大学生の部・公共的空間部門)



入選 齋藤泰博 愛知県立旗手農林高等学校 (高校生の部・住宅庭園部門)



入選 野口恵理 長野県須坂園芸高等学校 (高校生の部・住宅庭園部門)



入選 木藤美知香 長野県須坂園芸高等学校 (高校生の部・住宅庭園部門)



全国高等学校造園教育研究協議会長賞
近藤卓弥 広島県立西条農業高等学校 (住宅庭園部門)



全国高等学校造園教育研究協議会長賞
岡田鮎美 島根県立松江農林高等学校 (実習作品部門)

専門家のアドバイスも見える。学生仲間との共同作業を奨励したい。

岡田鮎美君(島根県立松江農林高等学校)の作品もよく頑張った跡が見える。将来の造園家は、先人の造園作品も含め、自然の風物、各種造形物を、常日頃からよく観察し、美意識を高め、教養を高めることが大切です。

親類の新庭を設計施工したよう、住人の利用意図をコンパクトにまとめ、全体として、見映え、良く、すっきりしている。

高橋一輔委員(社)日本造園建設業協会技術委員長

(社)日本造園建設業協会賞として、「実習作品部門」の池山幸大君(京都造形芸術大学4年)を選んだ。

募があり、個性あふれる作品から、ほのぼのとした手づくり感あふれる生活を描いた作品まで、優れた作品が多数見られました。

一方、街区公園部門と公共的空間部門は応募数も少なく、周辺状況や設計課題を的確に理解し、作品にまとめたものが少なかったように感じました。

なお、今回、入選された作品の中に、豊かな発想や瑞々しい感性に彩られた作品が数多くあり、デザイン力や表現力を磨く素晴らしい作品になると思われるものが多数あったことを申し添えます。

「街路樹剪定士」

指導員研修会」実施

日造協が「街路樹剪定士」の資格制度を設けて11年が経ち、これまでに約9000名が認定され全国で活躍しています。

「街路樹剪定士」は街路樹の機能と効果を熟知し、美的感覚を持った街路景観の創出維持に寄与するもので、最近各地の発注要件として取り上げられるなど発注者の認知度が向上する

とともに、資格者への期待と責任も増大しています。また、街路樹の都市環境に対する役割も大きく市民の関心も高まっています。

今回行った研修会は、全国の資格者の剪定技術の向上を図るためから、「街路樹剪定士」の指導的役割を担い、各地域の街路景観の相談にも対応できる「指導員」を養成するためのもの

学会の日・眼・芽

第10回

このコーナーに急ぎ原稿を送るようにとの注文である。私は既に一度書いていたので、もういいと思っていたが、10回目だから区切りに駄文をもう一度とのこと。そこで2010年寅年の年頭に思ったことを書くことにした。

あらゆる分野についていえることであるが、今年には新たな目標設定を強いられる年である。これまでのトレンドでは生きていけなくなり、リセットの年が2010年である。そこで、新たな価値ある目標を掲げる。その目標に一直線に向かう道筋を大至急で整えるのも2010年だと思った。以前のように「今年はまず目標を掲げ」とのんびりしておれない。目標を優雅に眺めている時間はない。まして目標に向かって紆余曲折は許されない。最短でまっすぐに進むには同じ大きな両輪が必要で、二つの車輪の径が違えば直進できず目標には向かわない。そして二つの車輪には各々ガバナンスと現場力の言葉が付くべきだと思った。コインの裏表でもある。ガバナンスとは統治であり、現場力とは現実の場面で物事に直面しておどおどしないで済む能力である。

国内の公共投資が縮減したことにより、造園関連企業は、需要と供給のバランスを大きく崩した状態にある。企業として受け入れ能力はあるのに仕事がないのが現実である。公共投資が縮減することを予測していた企業は、民間投資による仕事の受け入れを準備し、セグメントとしてあらかじめ

です。

2月26日～27日に東京都多摩市において実施し、全国から推薦された街路樹剪定士19名が参加しました。



意見交換会の様子



実技講師による指導

研修内容は、1日目に美しい街路樹をつくる剪定技法や指導員の役割などの講義、実技講師による見本剪定と剪定の解説、最後に地域における街路樹の実情を話し合う意見交換を行いました。

2日目は、実技試験として、ケーススタディに沿ったミニジバフウとシラカシを各1本を剪定しました。実技は「指導員講師」の大場二郎氏(株大場造園、

社員の方々も「日造協ニュース」が読める

メールアドレスの登録方法を刷新

日造協は毎月2回、会員

過去にそのような現象が見られた。問題は、東アジアまでパイを広げてのガバナンスに好奇心を持つつかどうかである。今年は横浜で日韓中のランドスケープフォーラムが開催される。まずはそうした場に好奇心旺盛に参加してはどうか。

もう一方の車輪に付いている「現場力」についてはどうか？私が必要だと思う現場力は、底力と判断力を掛け合わせたものである。ガバナンスがあまり強すぎると現場力が無くなるのが常である。指示待ち人になってしまうことで、当事者能力が著しく損なわれた状況である。指示に従わない人も困るが、すべて指示が出ないと動かない人も困る。ガバナンスと現場力のバランスが肝心だという人もいるが、私は単なるバランスの問題で片付くものではないと思っている。大事なものはガバナンスには明確な軸足が見え、現場力では底力と判断力が見えることだ。底力は、知識に経験が積算されて発揮される力であり、あることに直面しても当惑せず対処する知恵が出せるような状況を作れているか否かで測れる。判断力は善し悪しの区分だけでなく目利きまで欲張りたい。いろんな経験の後に、書物を読み講演を聴くと、妙に納得することが多々ある。そうすると経験が苦ではなくなりいろんなことにチャレンジしたくなる。そして目利きも向上する。そしてまた勉強する意欲となる。そうした繰り返しのことを巷ではCPDといっている。手持ちのカードを電車やバスでは差し出さないように。

義茂 壽太郎
(熊本県立大学理事長)

中村伸雄氏(株生光園)、吉村知泰氏(株吉村造園)、学科は技術委員会の立山副委員長・卯之原副委員長、事務局の野村技術・調査部長が担当しました。

今後講師による採点と合否判定を行い、新たな指導員が誕生する予定です。

たときに、各職種にふさわしい情報をお届けすることができるようになります。是非、ご登録を！

方法

1. 社員の方に「日造協ニュース」を転送して下さい。
2. 転送した「日造協ニュース」の下の方にある「★社員の方も「日造協ニュース」を見ることが出来ます。」の下のURL [https://jalc.kts.co.jp/jalcmember/infoemail/EntryJhm?id (以下省略)] をクリックすると、各会員企業様専用のページが開きます。ここで直接社員の方がメールアドレスを登録して下さい。

企業様向けのメール「日造協ニュース」を配信しています。このメールを「社員」にも読ませたいが、いちいち転送するのは大変！とのご意見から、簡単に社員の方がメールアドレスを登録できるようにしました。

また、職種の別(経営者、事務職、営業職、専門職(技術系)など)も登録できま

すので、将来購読者が増え

人にやさしい秋田の街づくり

最近、よく秋田市内の街で高齢の方が、買物のカートを押したり引いたりしている様子を見かけるが今の時期(2月18日)は、一年中で最も寒く雪も降り、足元がぬかるんだり滑る道路を歩く姿は大変気の毒である。一方、融雪設備の整った歩道では雪もなく乾いた歩道で若者がジョギングをしたりしているが、このように安心して通行できる歩道はごく一部の場所に限られている。



緑の水滴

また、全国ニュースでは高齢者が高速度道路を逆走するケースがあり、大変危険でもあるし高度に整備されたインフラも高齢者には優しくない面もある。

車の運転も高齢者でなくても、カーナビに頼らなくては目的地に行くことが困難なこともある。このように、私たちの身の回りに、パソコンを始め携帯電話等多くの電子機器がある。しかし、これらを上手に使いこなす人にとってはごく上なく便利なものであるが、不得手な人にとっては厄介な代物である。これからは大変な速さで高機能な製品が作り出されると思うが、肝心の使い手の方がなかなかついていけないような気がする。

これからの時代は、使いこなせない

加藤薫(桂造園土木)

日造協賛助会員の紹介 17

タカオ(株)



広島県呉市 大型複合遊具

当社はこれまで様々な公園施設製品の企画・設計・製造・販売を通じていきいきと都市空間を彩ってきました。

した。エコロジーという地球と人類の未来に関わるテーマのもと、高度な技術でユニークな遊び、新しいデザイン・機能を追求した新製品を続々と開発。公園・公共施設・商業施設・マンションの屋上…。様々な空間にぴったりとはまる公園施設製品を各種取り揃え、それぞれの設置状況・利用状況にあわせた提案をさせていただきます。

事務局の動き

- 2月
- 2(火) 技術委員会(在京)
- 3(水) 登録造園基幹技能者講習委員会
- 4(木) 運営会議
- 5(金) JAPAN FELA 総会
- 6(土) 第36回全国造園デザインコンクール表彰式
- 沖縄国際洋蘭博覧会 表彰式
- 緑化樹木等の品質確保に関する懇談会
- 9(火) 広報日造協編集会議
- 10(水) 財政・運営基本対策検討部会
- 12(金) 福島県造園建設業協会総会
- 16(火) 都市公園・緑化・緑地保全担当者会議

- 19(金) 長野県造園建設業協会総会
- 23(火) 厚生年金基金理事会
- 25(木) 造園施工管理技術検定委員会
- 26(金) 街路樹剪定士指導員研修会(多摩市) 27
- 1(月) 広報日造協編集会議
- 3(水) 総支部長・支部長合同会議
- 11(木) 総務委員会(企画・財務合同部会)
- 12(金) 建設系CPD協議会
- 16(火) 造園・環境緑化産業振興会事務局会議
- 19(金) 総務委員会(全国)
- 24(水) 建設業適正取引推進機構評議員会
- 26(金) 都市緑化技術開発機構評議員会
- 29(月) 建設業技術者センター評議員会

また、地域の景観を向上させる製品を作るため、タカオは専門のデザイナーを起用し企画デザインを追求、人間工学・都市工学の面でも十分な配慮を行っています。詳しくはHP (http://www.takao-world.co.jp) ...